

印西市学校適正規模・適正配置基本方針（平成28年10月策定）における検討対象校の取り組み状況について

(1) 小規模校（過小）

既に複式学級や欠学年が発生している、又は、近い将来に複式学級の編成が予測される学校

- ① 永治小学校（統合前の児童数22名、通常学級数3）
平成29年4月1日から木刈小学校へ統合
- ② 宗像小学校（統合前の児童数20名、通常学級数4、特別支援学級数2）
平成31年4月1日からは野小学校へ統合
- ③ 本埜第一小学校（統合前の児童数53名、通常学級数5、特別支援学級数1）
平成31年4月1日から本埜第二小学校と統合し、本埜第一小学校の施設を使用して本埜小学校として開校
- ④ 本埜第二小学校（統合前の児童数38名、通常学級数4、特別支援学級数2）
平成31年4月1日から本埜第一小学校と統合し、本埜第一小学校の施設を使用して本埜小学校として開校
- ⑤ 船穂小学校（令和元年5月1日現在の児童数47名、通常学級数5、特別支援学級数1）
未実施
- ⑥ 本埜中学校（令和元年5月1日現在の児童数46名、通常学級数3、特別支援学級数1）
未実施

(2) 大規模校

新たな宅地開発等に伴う児童生徒数の急増により、近い将来に施設教室数の不足が予測される学校

- ① 小倉台小学校
 - ・平成28年度から通学区域制度の弾力的な運用を実施（別添「資料6」参照）
 - ・平成29年度に校舎の増築工事を実施し、8教室を増設済み（平成30年4月から供用開始）（別添「資料7」参照）
 - ・平成30年4月1日から通学区域の一部を変更（別添「資料8」参照）
- ② 原小学校
平成30年度に校舎の増築工事を実施し、6教室を増設済み（平成31年4月から供用開始）（別添「資料9」参照）
- ③ 木刈中学校
令和2年度に校舎の増築工事を実施し、教室を増設予定（令和3年度から供用開始予定）